



Sophia Ecology Law Seminar 2016

CSRと環境法を考える連続セミナー（Aセミナー）

コンセプト： ソフィア・エコロジー・ロー・セミナーの趣旨【※】を踏まえ、「より佳き環境法」を実現するために、企業の社会的責任（CSR）や企業環境法の現状や課題について、その第一線で活躍する関係者たちが講義し、今後の展望について語り合う。

会場： 上智大学法科大学院203号教室（四谷キャンパス2号館2階）

アクセスガイド http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

キャンパスマップ http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya

講義時間： 19:00～20:30 講義、質疑応答・議論

コメント： 筑紫圭一（本学法学部准教授）

コーディネーター： 安達宏之（洛思社 代表取締役）

受講料： 無料

第1回 2016/11/7(月)	環境法対応の現状報告①（仮） 大竹 利幸 氏（前田建設工業株式会社 CSR・環境部）
第2回 11/21(月)	環境法対応の現状報告②（仮） 樽谷 俊彦 氏（ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 経営戦略本部 経営管理部）
第3回 12/5(月)	循環産業の法対応と新戦略：～大栄環境株式会社の取り組み～ 大塚 健護 氏（大栄環境グループ 本部 総務部 総務担当次長）
第4回 12/19(月)	ジャーナリストから見た「企業と環境法」： 井田 徹治 氏（共同通信社編集委員 兼 論説委員）
第5回 2017/1/16(月)	EMSの現状と課題：～ISOとエコアクション、これまでとこれからを考える 黒柳 要次 氏（株式会社パデセア代表取締役）
第6回 1/30(月)	企業は環境法とどう付き合うべきか（まとめ） 筑紫 圭一 氏（上智大学法学部）、安達 宏之 氏（洛思社代表取締役）ほか

※テーマ等は変更されることがあります。

◎ **受講申込み：** 受講希望者はメールの件名を「**エコロジー・ロー・セミナー(Aセミナー)申込**」とし、下記事項を明記の上、法科大学院事務室宛てにメールでお申し込み下さい(djuris@sophia.ac.jp)。折り返し、メールで受講許可証を送付いたします。受講日当日には、その受講許可証を印刷してご持参ください。

① 御名前(漢字)、②御名前(カナ)、③御所属、④メールアドレス、⑤受講希望回

【※】ソフィア・エコロジー・ロー・セミナーの趣旨

法科大学院における研究教育を社会に還元し、その反応を踏まえてさらに内容を改善することは、上智大学にとっても重要な課題であるとともに、これに対する社会的要請も高まってきている。上智大学法科大学院は、かねてより、環境法政策プログラム(Sophia Environmental Law and Policy Program, SELAPP)を組織し、関係授業への聴講生制度の導入、研究会やセミナーなどを開催することによってこの要請に対応してきたが、ひとつのテーマのもとで連続した議論を展開する取組みには未着手であった。

「より佳き環境法」の実現は、現代社会が目指すべき大きな課題である。SELAPPは、ソフィア・エコロジー・ロー・セミナー(Sophia Ecology Law Seminar, SELS)として、新たに連続セミナーを夜間に開催することで、社会的要請に対応する。受講生としては、主として、弁護士、行政職員、企業法務職員などの法律実務家、環境法の遵守に関心を持つ民間企業人、そして、大学院生・学部学生を想定する。

上智大学法科大学院事務室
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7番1号
TEL 03(3238)3259
上智大学法科大学院ホームページ <http://sophialaw.jp/>